

阿用地区福祉委員会の活動の概要について

1 阿用地区福祉委員会の設立

平成 19 年 6 月 22 日に「阿用地区福祉委員会」を設立しました。

設立の経緯 ⇒雲南市合併（平成 16 年 11 月 1 日）以降に雲南市社協から市内全「地区福祉委員会」を立上げて活動を実施してほしい旨の要請と指導あり

2 福祉委員会の構成員と会議

22 年 4 月から雲南市では従来の「公民館」が「交流センター」に組織改編され、福祉活動については阿用地区振興協議会（自主組織）の中の福祉部「阿用地区福祉委員会」がその事業活動を担っています。委員会の構成員は自主組織の長、交流センター長、民生委員、自治会長会の代表、老人会代表、ボランティア代表、各自治会（16 自治会）から各 1 名（自治会の副会長と役職指定）等々の各方面の代表で組織され、総勢 35 名です。 会議としては、総会、役員会、運営委員会、見守り支援情報交換会など

3 事業活動の基本方針

平成 19 年秋に地区住民の皆さんにアンケートを実施して、委員会のあり方や実施してほしい事業活動等についての調査把握に努め、その結果を踏まえながら出来るものから活動を実施し現在に至っています。（アンケートは地区在住の 20 歳以上の者全員・回答率は 83%）

なお、平成 24 年 3 月に再度、福祉委員会に実施してほしい活動項目のアンケートを行いました。その結果は下記のとおりです。

◆実施してほしい事業活動（6 年前）

- 1 位 高齢者の見守り支援活動
- 2 位 子供安全見守り活動
- 3 位 福祉何でも相談窓口の開設
- 4 位 生きがい活動の創設
- 5 位 地域交流の場づくり

◆実施してほしい事業活動（昨年 3 月実施）

- 1 位 高齢者の見守り支援活動（6 年前と同準位）
- 2 位 子供安全見守り活動（6 年前と同準位）
- 3 位 子育て支援活動（6 年前は 6 位）
- 4 位 認知症への地域支援活動（認知症地域支援活動の成果）
- 5 位 地域交流の場づくり（6 年前と同準位）

4 福祉活動の内容

① 高齢者の見守り支援活動

地区住民の要望が一番高かった「高齢者の見守り支援活動」を自治会から選出の福祉委員さんを核として実施しています。

実施にあたり、通常時は出来る限り負担にならない見守り支援を基本とし、災害等の発生した場合は、迅速かつ適切な対応（安否確認や誘導等）を行う活動を行っています。

また、年度初めと年度末には活動の確認・実施状況・問題点・課題等について役員と福祉委員との情報交換会を実施しています。

なお、要見守り支援該当者の方には実施に関して承諾の可否を確認し、個人情報やプライバシーの保持に努め活動に取り組んでいます。



② 1人暮らし高齢者の交流会

地区内には現在 25 名の 1 人暮らし高齢者がおられる。毎年 11 月にお招きし（案内は福祉推進員が直接自宅を訪問し出欠の確認をしている）交流会を実施している。その内容は先ずアトラクション（今年度はおばば座一行による芸や寸劇等）で楽しんでもらい、そして、手作りのお弁当（あよう川スマイル＝ボランティア）を食べながら懇談し、親睦と絆を深めている。また、日常の様子や困り事などがあればお聞きし、福祉委員会への要望等も伺いながら交流を行っている。なお、高齢者の送迎はタクシーを利用している。



③ 認知症モデル地区事業とその推進

平成 21～22 年度に雲南市の認知症モデル地区として「認知症の正しい理解とその地域支援活動」の推進事業に取り組み、地域が一丸となって、その理解と地域支援の推進に取り組みました。この結果、認知症への理解は深まり、地域支援の輪は確実に広がり予想以上の成果を得ました。なお、認知症対応は少子高齢化社会の大きな問題と課題であり、当地区ではモデル事業終了後も継続して講演会の開催やサポーター養成講座の実施等、その推進に取り組んでいます。なお、モデル 3 地区（飯石・三刀屋・阿用）はその後も連携とりながら情報交換し活動を進めています。

④ サロン活動の推進

サロンは高齢者同士の絆を深め、生き甲斐作りや仲間意識の高揚、また、引きこもり防止や認知症予防にも効果があるとされているので積極的な推進に努めています。現在当地区内の 16 自治会の内 9 サロンを立ち上げ、それぞれ有意義な活動を展開しています。委員会としては全自治会設置を目標にしていますが、現時点ではこれ以上の立上げは難しい状況です。課題はサロン活動への協力者や指導者が不足しており、その育成が急務です。



⑤ 地域ボランティアとの連携

福祉活動事業を進めるに当たっては、地区内の各種ボランティア団体からの支援と協力が不可欠です。幸い地区内には「あよう川スマイル（会員 36 人）」の強力なボランティア組織があり、積極的な支援を得ながら各種事業を実施しています。（一人暮らし高齢者の交流会・サロンでの手作り弁当作り等）

